

風水害・地震等に対する児童の安全確保について

状況	学 校・家 庭 の 対 応	連 絡 等
午前6時の時点で横浜市内(注1)に ぼうふうけいほう 「暴風警報」 おおゆきけいほう 「大雪警報」 ぼうふうせつけいほう 「暴風雪警報」 とくべつけいほう 「特別警報」 (大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪) こうかいよほう 「降灰予報」 が発表されているとき	りんじきゅうこう 臨時休校	○原則として 学校からの連絡は行いません。 ○状況により、適宜「すぐーる」配信等により学校から連絡します。
「暴風・大雪・暴風雪・特別警報」の発表はないが、 「強風」「大雨」「洪水」「大雪」などで、 <u>登校が危険と家庭が判断したとき</u>	つうじょうじゅぎょう 通常授業 各家庭で危険と判断された場合は登校を見合わせる(注2)	
横浜市内で1か所でも しんど きょういじょう じしん 震度5 強 以上の地震 が発生したとき	当日と翌日は りんじきゅうこう 臨時休校	
なんかい じしん かん 南海トラフ地震に関する りんじじょうほう 臨時情報 地震発生の可能性が相対的に高まったと判断されたとき	○市教育委員会から 「全市臨時休校」の指示あり きゅうこう ⇒ 休校 ※地域の災害危険性等から、中学校区で登校見合わせの判断をする場合もあります。 ○市教育委員会から 「全市臨時休校」の指示なし ⇒ 家庭で登校の安全を判断および確保し、登校する。	○状況により、適宜「すぐーる」配信等により学校から連絡します。
Jアラート (全国瞬時警報システム)で 自然災害以外の警報が神奈川県を含んで発せられている。	とうこう みあ 登校を見合わせ 建物内で安全を確保 警報解除⇒登校についてメール配信 つうじょうじゅぎょう 原則 通常授業 家庭で登校の安全を判断および確保し、登校する。	
大型台風の接近や、大雪の影響などで しないてつどうがいしゃ けいかくうんきゅう 市内鉄道会社の計画運休 が判明した場合	メール配信があるまで自宅待機	

状況		学 校・家 庭 の 対 応	連 絡 等
登 校 後	登校後に けいほう 「 警報 」が発表された場合		
	じしんはっせい しんど い か 地震発生（震度5弱以下） 震度5強に達していないが、 児童のみの下校が危険と判断した場合	学校や地域の状況に応じて学校 で対応を判断し ほごしやひ と 保護者引き取り げこう 下校 いっせいげこう 「一斉下校」 を行います。	○状況により、適宜 「すぐー」配信等によ り学校から連絡しま す。
	なんかい じしん かん 南海トラフ地震に関する りんじじょうほう 「 臨時情報 」が発表された場合		
	げこうじかん ちいき ていでん た 下校時間に地域の停電、その他、 じけん じ こ 事件・事故	※引き取りの場合は「児童カード」 に名前のある方のみ引き取りでき ます。	
	Jアラート （全国瞬時警報システム）で 神奈川県にも自然災害以外の警報続いている		※校外学習・宿泊体験 学習の場合 ○原則、活動を一時中止し 安全を確保します。 ○状況により、続行、帰校ま たは現場待機等を判断し ます。対応については「す ぐー」配信で連絡しま す。
	横浜市内で1か所でも しんど きょういじょう じしん 震度5 強 以上の地震 が発生したとき つなみけいほう おおつなみけいほう 津波警報・大津波警報	ほごしやひ と 保護者 引き取り げこう 下校 ※『津波警報』、『大津波警報』が 発令中は、保護者も避難して ください。 保護者が来るまで、児童は避難 場所に留め置きとします。 ※状況により、避難場所が変更する ことがあります。(注3) ※震度5弱以下の地震でも、状況に よって授業を打ち切り、児童を学 校に留め置くことがあります。	

(注1) 「横浜市内に警報が発表されている場合」とは、「神奈川県全域」「神奈川県東部」「横浜・川崎」の いずれかに警報が発表されている状態を指します。

(注2) 家庭での判断で休んだり、遅れたりする場合、欠席・遅刻とはなりません、必ず学校に連絡をしてください。

(注3) 本校は津波の際の「緊急指定避難場所」となっていますが、状況に応じて、より安全を確保できる避難場所に移動します。適宜「すぐー」配信等により学校から連絡しますので、ご確認をお願いします。

横浜市では、次のような方法で、市民向けに気象情報等の提供を行っています。確認したいときに、比較的容易に情報を得ることができますので、ご活用ください。

1 横浜市一般気象情報サイト

- (1) インターネットに接続し、横浜市ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/>) にある、「防災情報」をクリックし、次の画面の左側にある「防災情報」をクリックしてください。
- (2) 表示された画面の「気象警報・注意報」をクリックすると、次の画面で、神奈川県内の各地方の警報・注意報発表状況が表示されます。「横浜・川崎」の項で、「警報」の欄に赤い枠で囲われた内容が表示されている場合は、該当の警報が横浜・川崎に発表継続中であることを示します。

2 横浜市防災情報サイト

- (1) インターネットに接続し、次のURLを入力してください。
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>
- (2) 表示された画面で、「気象特別警報・警報・注意報」を選択すると、横浜・川崎に対し、直近の時刻に発表された情報が表示されます。
- (3) さらに、「現在の注意報・警報へ」を選択すると、その時点での、横浜・川崎に対する特別警報・警報・注意報発表状況が確認できます。

3 横浜市水防災情報サイト

- (1) インターネットに接続し、次のURLを入力してください。
<https://mizubousai.city.yokohama.lg.jp/>
- (2) 表示された画面の「警報・注意報」に、直近の時刻に発表された情報が表示されます。

4 横浜市「防災情報Eメール」配信

上記2「横浜市防災情報サイト」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、Eメールで受信することができます。配信される情報の種類は、任意に設定可能です。

登録を希望する場合は、携帯電話（パソコンも可）で、上記2のサイトから手続きをしてください。

【注意点】

- (1) 情報料は不要ですが、Eメール受信に関する通信料は受信者の負担となります。
- (2) 通信インフラの性質上、遅配や配信されない場合があります。
- (3) 携帯電話等で、メールの着信制限を設定している場合は、防災メールのアドレス (yokohama@bousai-mail.jp) から受信できるように設定する必要があります。

※ 警報発表状況に関するその他の確認方法

- テレビのニュース番組等の確認できます。ただし、休校判断時刻前後に放送されるとは限らかいことに留意の必要があります。
 - NTTの『177』では、電話をかけた時点で警報等が発表継続中であれば、冒頭で放送されます。ただし、利用が集中した場合、つながりにくくなることもあります。
 - テレビの『dボタン』から天気予報を選択し、地域を横浜市に設定して、警報・注意報を確認することもできます。
 - その他、気象庁等、各天気予報のサイトでも、確認することができます。
 - ◎Jアラート（全国瞬時警報システム）で神奈川県にも自然災害以外の警報が続く場合、震度5強以上の地震が発生した場合、自動的に保護者による引き取りを行います。
 - 学校に留め置き、学校において保護者に引き渡します。「児童理解カード」に名前のある方のみ引き取りできます。
- 原則として学校から連絡を行いません。補足的に、メール配信するよう努めますが、即時配信は困難です。